



Firepower Management Center のインストール

Firepower Management Center および Firepower 管理対象デバイスは、大規模な Firepower システム展開の一部としてネットワーク上に容易に設置できます。デバイスはネットワーク セグメントに設置され、それに適用された侵入ポリシーに基づいてトラフィックを検査し、侵入イベントを生成します。このデータは Firepower Management Center に送信されます。そこでは、データを展開全体で相互に関連付け、セキュリティに対する脅威を調整または処理するように 1 つ以上のデバイスが管理されます。



ヒント

複数の管理インターフェイスを使用することで、パフォーマンスを向上させたり、2 つの異なるネットワークのトラフィックを分離して管理することができます。初期設置中に、デフォルト管理インターフェイス (eth0) を設定します。設置した後、ユーザ インタフェースを介して追加の管理インターフェイスを設定できます。詳細については、*Firepower Management Center Configuration Guide* を参照してください。

アプライアンスの開梱と点検



ヒント

サーバの輸送が必要となる場合に備えて、輸送用の箱は保管しておいてください。



(注)

シャーシは厳密に検査したうえで出荷されています。輸送中の破損や内容品の不足がある場合には、ただちにカスタマー サービス担当者に連絡してください。

梱包内容を確認する手順は、次のとおりです。

- 手順 1 段ボール箱からシャーシを取り出します。梱包材はすべて保管しておいてください。
- 手順 2 次の Management Center に付属のコンポーネントのリストと梱包品の内容を照合します。システムと関連アクセサリを開梱するときに、次のようにパッケージの中身が完全であることを確認してください。
 - アプライアンス × 1
 - 電源コード (2 本の電源コードが冗長電源を含むアプライアンスに付属しています)
 - カテゴリ 5e イーサネット ストレート ケーブル

- ・ 1台のラック マウント キット
- 手順 3 破損の有無を調べ、内容品の間違いや破損がある場合には、カスタマー サービス担当者に連絡してください。次の情報を用意しておきます。
- ・ 発送元の請求書番号(梱包明細を参照)
 - ・ 破損している装置のモデルとシリアル番号
 - ・ 破損状態の説明
 - ・ 破損による設置への影響

セキュリティの考慮事項

Ciscoでは、アプライアンスを設置する前に、次の点を考慮することを推奨しています。

- ・ 無許可ユーザによるアクセスから保護された安全な場所にあるロック付きラックにアプライアンスを配置します。
- ・ アプライアンスの設置、交換、管理、または修理は、訓練を受け、資格要件を満たしている人物にのみ許可します。
- ・ 管理インターフェイスは、必ず、不正アクセスから保護されたセキュアな内部管理ネットワークに接続します。
- ・ アプライアンスへのアクセスを許可可能な特定のワークステーションの IP アドレスを特定します。アプライアンスのシステム ポリシー内のアクセス リストを使用している特定のホストにアプライアンスへのアクセスを限定します。詳細については、*Firepower Management Center Configuration Guide*を参照してください。

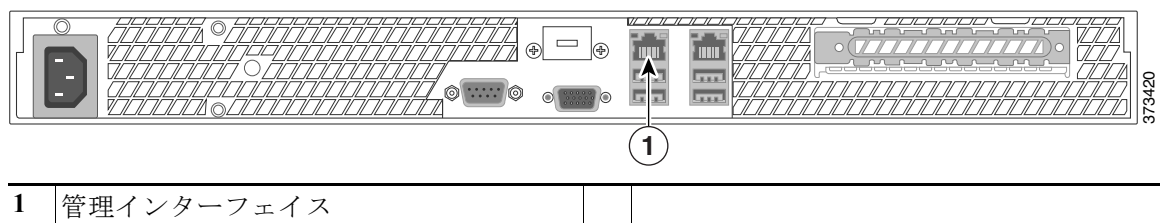
管理インターフェイスの識別

管理インターフェイスを使用して展開内の各アプライアンスをネットワークに接続します。これにより、Firepower Management Center は管理対象デバイスと通信して管理することができます。設置手順に従って作業する際、アプライアンスの正しい図を参照してください。

Firepower Management Center 750

MC750 は 1U アプライアンスとして提供されます。次のシャーシ背面図は、MC750 のデフォルト管理インターフェイスの位置を示しています。

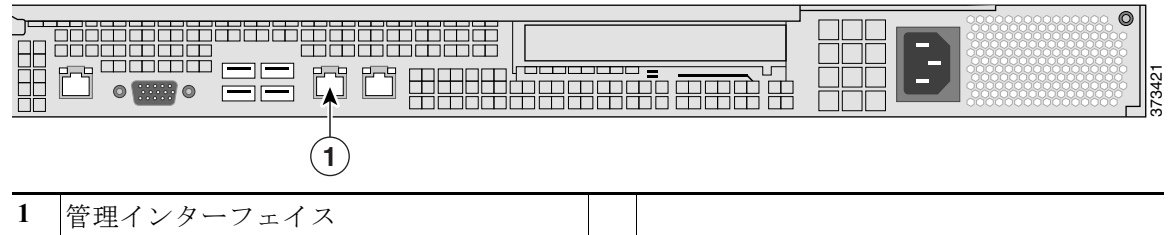
図 3-1 MC750



Firepower Management Center 1500

MC1500 は 1U アプライアンスとして提供されます。次のシャーシ背面図は、デフォルト管理インターフェースの位置を示しています。

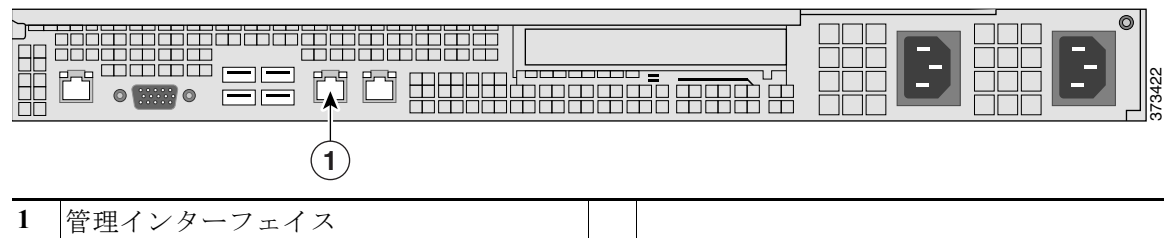
図 3-2 MC1500



Firepower Management Center 3500

MC3500 は 1U アプライアンスとして提供されます。次のシャーシ背面図は、デフォルト管理インターフェースの位置を示しています。

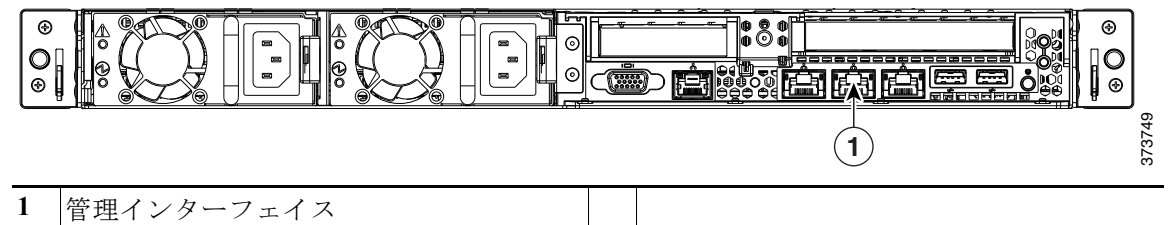
図 3-3 MC3500



Firepower Management Center 2000 および 4000

MC2000 および MC4000 は 1U アプライアンスとして提供されます。次のシャーシ背面図は、MC2000 および MC4000 のデフォルト管理インターフェースの位置を示しています。

図 3-4 MC2000 および MC4000



ラックへの Management Center の設置

すべての Management Center をラックに取り付けることができます。アプライアンスを設置するときに、アプライアンスのコンソールにアクセスできることを確認する必要があります。初期設定でコンソールにアクセスするには、次のいずれかの方法でアプライアンスに接続します。

キーボードとモニタ/KVM

USB キーボードと VGA モニタを 1 つの Management Center に接続できます。これは、キーボード、ビデオ、およびマウス (KVM) スイッチに接続される、ラックマウント アプライアンスで便利です。



注意

アプライアンスは大容量ストレージ デバイスをブート デバイスとして使用する可能性があるため、初期セットアップのためにアプライアンスにアクセスするときには、KVM コンソールと一緒に USB 大容量ストレージを使用しないでください。

管理インターフェイスへのイーサネット接続

次のネットワーク設定を使用して、インターネットに接続してはならないローカル コンピュータを設定します。

- IP アドレス: 192.168.45.2
- ネットマスク: 255.255.255.0
- デフォルト ゲートウェイ: 192.168.45.1

イーサネット ケーブルを使用して、ローカル コンピュータ上のネットワーク インターフェイスをアプライアンス上の管理インターフェイスに接続します。管理インターフェイスは、デフォルト IPv4 アドレスで事前に設定されていることに注意してください。ただし、設定プロセスの一部として、管理インターフェイスを IPv6 アドレスで再設定できます。

初期設定後に、次の追加の方法でコンソールにアクセスできます。

シリアル接続/ラップトップ

物理シリアルポートを使用して、コンピュータを任意の Firepower Management Center に接続できます。適切なロールオーバー シリアル ケーブル (ヌル モデム ケーブルまたはシスコ コンソール ケーブルとも呼ばれる) を常に接続した状態で、デフォルト VGA 出力をシリアルポートにリダイレクトするようリモート管理コンソールを設定してください。アプライアンスと通信するには、HyperTerminal や Xmodem などの端末エミュレーション ソフトウェアを使用します。このソフトウェアの設定は、9600 ボー、8 データ ビット、パリティ チェックなし、1 ストップ ビット、およびフロー制御なしです。

Firepower Management Center のシリアルポートは RJ-45 接続を使用します。

適切なロールオーバー ケーブルをデバイスに接続した後、*Firepower Management Center Getting Started Guide* に記載されているようにコンソール出力をリダイレクトします。各アプライアンスのシリアルポートを特定するには、[ハードウェア仕様 \(2-1 ページ\)](#) の図を使用してください。

Serial over LAN を使用した Lights-Out Management

LOM 機能を使用すると、SOL 接続を通して Firepower Management Center に対して限定的なアクションセットを実行できます。LOM 対応アプライアンスを工場出荷時設定に復元する必要があるが、このアプライアンスに物理的にアクセスできない場合は、LOM を使用して復元プロセスを実行できます。LOM を使用してアプライアンスに接続した後で、物理シリアル接続を使用する場合と同様の方法で、復元ユーティリティに対してコマンドを発行します。詳細については、*Firepower Management Center Getting Started Guide* を参照してください。



(注) Lights-Out Management は、デフォルト (eth0) 管理インターフェイス上でのみ使用可能です。

LOM を使用してアプライアンスを工場出荷時設定に復元するには、ネットワーク設定を削除しないでください。ネットワーク設定を削除すると、LOM 接続もドロップされます。詳細については、*Firepower Management Center Getting Started Guide* を参照してください。

アプライアンスを設置するには:

- 手順 1 取り付けキットと付属の手順を使用して、アプライアンスをラックに取り付けます。
- 手順 2 キーボードとモニタまたはイーサネット接続を使用してアプライアンスに接続します。
- 手順 3 キーボードとモニタを使用してアプライアンスを設定している場合は、ここでイーサネット ケーブルを使用して管理インターフェイスを保護されたネットワーク セグメントに接続します。
コンピュータを直接アプライアンスの管理インターフェイスに接続することによって初期設定プロセスを実行する予定の場合は、設定の完了時に、管理インターフェイスを保護されたネットワークに接続します。
- 手順 4 電源コードをアプライアンスに接続し、電源に差し込みます。
アプライアンスに冗長電源がある場合は、電源コードを両方の電源に接続し、別々の電源に差し込みます。
- 手順 5 アプライアンスの電源をオンにします。
直接イーサネット接続を使用してアプライアンスを設定する場合は、ローカル コンピュータ上のネットワーク インターフェイスとアプライアンス上の管理インターフェイスの両方のリンク LED が点灯していることを確認してください。管理インターフェイスとネットワーク インターフェイスの LED が点灯していない場合は、クロス ケーブルを使用してみてください。

次の作業

- 新しいアプライアンスが信頼された管理ネットワークで通信できるようにするセットアッププロセスを完了します。*Firepower Management Center Getting Started Guide* を参照してください。

■ ラックへの Management Center の設置